956

石油脱硫微生物 Pseudomonas putida No.69株の 高濃度培養とDBT分解

(名大院・工・生物機能)○本多裕之、杉山浩康、松下 (工技院生命研) 倉根隆一郎

【目的】原油中の硫黄濃度は増加する傾向にある一方で、軽油に含まれる硫 黄の含有量は規制される方向に向かっている。このため我々は脱硫微生物の 高濃度培養と休止菌体反応による2段階のバイオ脱硫を提案しており、 Rhodococcos rhodochrous IGTS 8 を用いた研究を報告した。今回は別の脱硫 微生物であるPseudomonas putidaNo.69を用い、ジャーファーメンターでの 高濃度培養と、モデル含硫有機化合物であるジベンゾチオフェン(DBT)の 分解を行ったので報告する。

【方法および結果】脱硫微生物としてP. putida. No.69を使用した。容量1L のジャーファーメンターを用いて酢酸と酢酸アンモニウムの混合物を流加す るpHスタットによる培養を行った。酢酸、アンモニア濃度はともに培養期 間を通して阻害レベル以下の2g/1以下に抑えることができ、13時間後最終乾 燥重量で31.4 g-dry weight/Lに達した。これはR. rhodochrous IGTS 8株の約 2倍の増殖速度であった。また得られた菌体はDBT分解活性を持ち、20時間 で 0.2 m M の DBT が 分解 できた。

High density culture of *Pseudomonas* sp. No.69 for biodesulfurization OHiroyuki Honda, Hibiki Matsushita, Hiroyasu Sugiyama, Takeshi Kobayashi, *Ryuichiro Kurane (Dept. of Biotechnology, Graduate School of Engineering, NagoyaUniv. *NIBH)

[Key Words] high density culture, desulfurization, pH stat

957 麹菌由来グルコアミラーゼ生産酵母の構築とその培養特性 (阪大院・工・応生) ○梶原芳典、川崎泰嗣、内山圭司、塩谷捨明

【目的】デンプンを基質とした直接発酵では、デンプンを分解する酵素を生産させ、酵 素によって分解した糖から目的生産物を生産させる。以前、当研究室において、培養温 度によって発現調節が可能なイネα-アミラーゼ生産酵母を構築し、その培養特性につ いての研究を行った。しかし、デンプンの直接発酵を行うためにはα-アミラーゼだけ でなく、酵母が直接資化しやすいグルコースを生成するグルコアミラーゼも生産させ、 デンプンに、 α -アミラーゼ、グルコアミラーゼ両酵素を作用させることがより効率的 であると考えられる。そこで、本研究では、デンプンを基質とした直接発酵の最適化を 目的として、培養温度によって発現調節が可能な麹菌由来グルコアミラーゼ生産酵母を 構築し、培養温度、基質濃度に対する比増殖速度、比生産速度の関係など、培養特性に ついての研究を行った。

【方法及び結果】 宿主には Saccharomyces cerevisiae の無機リン酸トランスポーターをコ ードする PHO84 遺伝子の発現が、温度により調節可能となった PHO80 遺伝子の温度感 受性変異株を用いた。この株に PHO84 遺伝子のプロモーターと、麹菌グルコアミラー ゼ遺伝子の構造部との融合遺伝子を持つグルコアミラーゼ発現用ベクターを導入する ことにより、高リン酸濃度下で培養温度によってグルコアミラーゼの発現調節が可能な グルコアミラーゼ分泌生産株(YKU131)を構築した。以前の研究から、イネ α -アミラー ゼ生産酵母は、比増殖速度は培養温度 32℃で、アミラーゼ比生産速度は 34℃で最も高 くなる傾向を示すことがわかっている。そこで、YKU131株の培養温度32℃、34℃にお ける培養特性について検討を行い、デンプンを基質とした直接発酵最適化の指針とした。

Production of glucoamylase from Aspergillus oryzae by a recombinant Saccharomyces cerevisiae.

OYoshinori Kajihara, Yasutsugu Kawasaki, Keiji Uchiyama, Suteaki Shioya

(Dept. of Biotechnol. Graduate School of Eng., Osaka Univ.)

[Key Words] glucoamylase, starch, Saccharomyces cerevisiae, one-step fermentation, recombinant yeast